

支部Newsletter

北海道支部

◎第70回大会の開催(報告)

2025年10月13日(月祝)に本支部第70回大会が北海道大学学術交流会館にて開催されました。節目となる今大会では、2件の研究発表、語学部門セミナー「生成AIと認知言語学との対話—生成AIが照らす言語の姿—」、文学部門シンポジウム「翻訳で文学研究を揺さぶる」、語学部門シンポジウム「A/A'-distinctionをめぐる問題—最近の極小主義の観点から—」、共通プログラム、特別講演1「新渡戸博士と英文学」、特別講演2「北海道支部学会の70年(前半)とプロポーズにはWill you marry me?と言いCan you marry me?と言わない本当の理由(後半)」が行われ、充実したプログラムとなりました。

◎理事会および総会について(報告)

支部大会当日に開催された理事会では、議題が3件、報告が4件ありました。2026年度予算および第71回支部大会開催ブロック・開催校等について審議、承認された後、2024年度決算および2025年度会計中間報告がなされました。また、同日開催された総会では、活動報告、決算報告、次年度支部大会開催ブロック・開催校の報告がなされました。

◎道南ブロック企画事業(報告)

2025年11月1日(土)、令和7年度函館英語英文学会研究発表会が北海道教育大学函館校で開催され、本支部が共催しました。

◎『北海道英語英文学』第71号の原稿募集について

現在、『北海道英語英文学』第71号に掲載する原稿を募集しています。締め切りは2026年5月10日必着です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第70号(『英文学研究 支部統合号』第18巻)の巻末または支部ホームページをご覧ください。

◎第71回支部大会について

2026年度支部大会は、道央ブロックの札幌学院大学(新札幌キャンパス)で開催致します。

日程については決まり次第、支部ホームページにてご案内致します。

◎2026年度の事務局について

2026年度は下記にて運営しております。

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
札幌学院大学 江別キャンパス
山添研究室内

[TEL/FAX] 011-386-8111

[e-mail] hokkaido@elsj.org

[HP] <http://www.elsj.org/hokkaido/>

◎会員情報更新のお願い

氏名、住所、メールアドレス、職位、勤務先の異動等があった際には、速やかに日本英文学会本部事務局ならびに支部事務局へご連絡ください。また、メールアドレスを登録されていない方はご登録をお願い致します。ご登録の際には、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願い申し上げます。

(文責 山添秀剛)

東北支部

◎東北支部第80回大会開催報告

東北支部第80回大会が2025年11月29日(土)に東北大学川内南キャンパスにて開催されました。開会式では支部長挨拶・談話として、昨今の英語に関わる研究諸領域がおかれている状況について示唆に富むお話があり、出席者は興味深く耳を傾けました。その後、文学部門と英語学・英語教育部門に分かれ、計7件の研究発表と2件のシンポジウムが行われ、活発な質疑応答が展開されました。参加者は60名を超え、大変活気のある大会となりました。仙台駅近くで開かれた懇親会にも40名近くが出席し、歓談のひと時を過ごしました。

開催にあたっては入念な計画と準備が必要です。大会準備委員ならびに開催校委員の皆さまのご尽力に感謝申し上げます。また、日頃のご研鑽の成果を発表して下さった研究発表者およびシンポジウム登壇者の皆さま、書籍を展示して下さった出版社の方々、そしてご多用中のところ参加して下さった会員の皆さまに

は、この場をお借りして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

詳細は東北支部ホームページ(<https://elsj.org/tohoku/>)をご覧ください。

◎東北支部研究振興事業「若手研究者のための トラベルグラント」次回締切

東北支部の研究振興事業「若手研究者のためのトラベルグラント」は若手研究者の支援を目的とし、4月1日、10月1日と年2回の締切を設けて募集を行なっています。次回の締切は2026年4月1日です。応募希望者は、支部ホームページ上にある申請書ファイルをダウンロードの上、事務局(tohoku@elsj.org)宛にご応募ください。

◎『東北英文学研究』第17号原稿募集

現在、『東北英文学研究』第17号の原稿を募集しています。締切は2026年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧くださいの上、事務局(tohoku@elsj.org)宛に、どうか奮ってご応募ください。

(文責：三枝和彦)

関東支部

◎関東支部第26回大会(2025年度秋季大会)について

日本英文学会関東支部第26回大会(2025年度秋季大会)は、2025年11月9日(日)に東京農業大学世田谷キャンパスにて開催され、盛会のうちに無事終了することができました。当日ご登壇、ご発表くださった皆様、ご参加くださった皆様に重ねて御礼申し上げます。開催のために大変ご尽力くださった大会準備委員の皆様にも感謝申し上げます。

◎関東支部第27回大会について

第27回大会は、2026年6月20日(土)に中央大学後楽園キャンパスでの開催を予定しております。研究発表応募締切は2026年3月末の予定です。懇親会の詳細については、2026年4月の大会準備委員会にて決定されます。今後、関東支部HP (<https://www.elsj.org/kanto/>)他を通じて続報をお知らせいたします。

◎『関東英文学研究』第19号について

『関東英文学研究』第19号への投稿を募集しております。締め切りは2026年5月15日(金)です。奮ってご投稿ください。投稿規程につきましては、関東支部HP、および『関東英文学研究』第18号の巻末をご覧ください。

◎2025年度関東支部総会報告

2025年11月9日(日)に東京農業大学世田谷キャンパスにおいて2025年度関東支部総会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 支部長報告(2026年度全国大会について)
2. 大会準備委員会報告(2025年度支部秋季大会について、2026年度支部夏季大会について)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第18号について)
4. 事務局報告(2024年度日本英文学会関東支部事務局の構成について、2024年度収支決算・会計監査について、関東支部の講師派遣事業について)

◎理事会報告

2025年11月9日(日)に東京農業大学世田谷キャンパスにおいて2025年度第2回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

○報告事項

1. 支部長報告(2025年度第1回理事会議事録確認、2025年度総会の開催について、2026年度全国大会について)
2. 大会準備委員会報告(2025年度秋季大会、2026年度夏季大会、次年度の委員人事など)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第18号、若手奨励賞の授与、次年度の委員人事など)
4. 事務局報告(2024年度会計監査、講師派遣事業について)

○審議事項

1. 2026年度予算案について

○その他意見交換

1. 2026年度 支部設立20周年記念に向けて

◎編集委員会報告

2025年9月14日(日)に、Zoomミーティング

にて2025年度第3回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2025年度優秀論文賞・若手奨励賞について
優秀論文賞該当論文なし 若手奨励賞該当論文一篇あり
2. 2025年度再投稿論文査読報告、判定、修正稿再査読報告、判定
3. 2025年度特別寄稿論文修正稿再査読報告、判定
4. 2026年度の後任委員人事(敬称略)

2026年度編集委員長 宮下治政(鶴見大学)

小池久恵(医療創生大学)→桑子順子(文京学院大学)

田代尚路(大妻女子大学)→岩本浩樹(茨城大学)

高木眞佐子(杏林大学)→新居達也(お茶の水女子大学)

佐久間由梨(早稲田大学)→生駒久美(東京都立大学)

貞廣真紀(明治学院大学)→木原健次(津田塾大学)

古谷裕美(関東学院大学)→関戸冬彦(白鷗大学)

◎大会準備委員会報告

2025年11月9日(日)に専修大学神田キャンパスにおいて2025年度第3回大会準備委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2026年度副委員長(2027年度委員長)の選出(敬称略)
関根全宏(東京家政大学)が2026年度副委員長に選出された。なお、2026年度委員長は山口敬雄(東京福祉大学)。
2. 2026年度の後任委員人事(敬称略)
今野史昭(明治大学)→鈴木辰一(職業能力開発総合大学校)
松井一馬(中央学院大学)→小泉由美子(慶應義塾大学)
山中章子(日本工業大学)→山根亮一(東京科学大学)
水口小百合(江戸川大学)→田中竹史(日本大学)
3. 今後の大会企画担当

4. 2026年度夏季大会について(2026年6月20日土曜日に中央大学後楽園キャンパスにて開催の予定であり、懇親会の有無については2026年4月に開催される委員会で正式に決定する見込み)
5. その他検討事項
6. 今後の予定

◎事務局よりご連絡

1. 上述の通り、次回の関東支部大会は2026年度夏季大会となります(6月20日開催予定)。研究発表への積極的な応募をお待ちしています。応募締切は2026年3月末です。さらなる詳細は関東支部HP (<https://www.elsj.org/kanto/>)にて後日公開予定です。
2. 『関東英文学研究』第18号には、15本(イギリス文学9本、アメリカ文学4本、英語圏文学1本、英語学1本)の投稿論文が寄せられ、そのうち6本が掲載されました。今後も関東支部は、意欲ある研究者を応援いたします。優秀な論文には、新人奨励賞・優秀論文賞を授与しています。ぜひ積極的にご投稿ください。
3. 2025年8月26日(火)に岡山芸術創造劇場にて、岡山県立岡山朝日高等学校進路教養講座講演会(日本英文学会関東支部共催)「学問の魅力ー英語学習を通じて言語の生態系を学ぶー」が開催されました。講師は東京大学名誉教授の齋藤史先生です。本講演会は関東支部の講師派遣事業の一環として行われました。
4. 関東支部では、中学校、高等学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関を対象に、日本英文学会関東支部の会員を英米文学、英米文化、英語、英語教育に関する講演や授業に講師として派遣し、ひろくその理解を深める機会を提供しています。講師派遣に関わる講演料の一部は関東支部の基金から支出します。講演や授業をご希望の中学校、高等学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局(kanto@elsj.org)までご連絡ください。詳しくは、支部HPの「講師派遣事業」のページ(<https://www.elsj.org/kanto/haken/>)をご参照ください。

(文責：塚田雄一)

中部支部

◎第77回支部大会報告

中部支部第77回大会は、中部大学において2025年10月25日(土)に開催されました。シンポジウム3件と研究発表8件がおこなわれ、70名程の参加者がありました。多く方にご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。ご参加いただいた会員の皆様とシンポジウム講師、研究発表者、司会者、大会準備委員の皆様には厚くお礼申し上げます。大会プロシーディングスは、中部支部ウェブサイトに掲載されておりますので、ぜひご覧ください。また、発表者の皆様におかれましては、今回のご発表の内容をぜひ論文にまとめ、『中部英文学』へのご投稿をご検討いただけましたら幸いです。

◎支部総会報告

支部大会当日に開催された総会において、以下の議題が報告され、また審議・承認されました。総会資料・議事録につきましては、支部ウェブサイトに掲載されております。

1. この一年の活動報告
2. 次年度以降の事務局担当校ならびに支部大会開催校
3. 前年度会計決算報告
4. 今年度予算案
5. 大会準備委員会規定の改定
6. 2027年度全国大会開催校

◎『中部英文学』第46号原稿の募集

『中部英文学』第46号の投稿締切は4月10日(金)です。投稿規定を熟読・厳守のうえ、奮ってご応募ください。ここ数年は投稿数が少なくなっております。会員の皆様におかれましては、学会誌の質の維持のために、『中部英文学』へのご投稿をご検討いただけましたら幸いです。

◎第78回支部大会研究発表の募集

第78回支部大会は皇學館大学(三重県伊勢市)にて開催予定です。(執筆時において)開催

日は未定ですが、決まり次第支部ウェブサイトやメールにて会員の皆様にお知らせいたします。研究発表の応募締切は5月31日(日)です。応募要領を熟読され、奮ってご応募ください。

◎常に最新の会員情報をお知らせ下さい

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動がおありの場合は、すみやかに本部事務局と支部事務局の両方にご連絡ください。また、メールアドレス未登録の方は、業務効率化のため、ぜひともご登録をお願いいたします。いただいた個人情報は、中部支部の業務のみに使用し、他の用途には使用いたしません。

(文責 二村慎一)

関西支部

◎関西支部第20回大会について

2025年12月13日(土) 11:00より、摂南大学寝屋川キャンパスにて関西支部第20回大会が開催されました。当日の登壇者並びに管理運営に携わって下さった皆様に厚く御礼申し上げます。今回は4件の招待発表を含む19件の研究発表と、英米文学部門および英語学部門の2件のシンポジウムが行われました。出席者は100名を超え、盛況のうちに大会は終了しました。来年度の大会も皆様と会場でお目にかかれることを期待したいと存じます。

◎役員会および総会について

支部大会当日に開催された理事・評議員合同役員会では、昨年度の会計報告に引き続き、機関誌編集委員長と大会準備委員長からそれぞれ報告が行われました。特に大きな決定事項として、機関誌の投稿規程に生成AIツールの使用に関する項目を新たに追加するなどの改訂案が提出され、協議の結果、承認されました。続いて第21回支部大会は関西学院大学を開催校として2026年12月12日(土)に実施予定であることが支部長から報告され、2026年5月16日(土)・17日(日)に同志社大学で開催予定の全国大会について、開催校委員長より挨拶がありました。また、支部理事選挙と懇親会案内を次年度からオンライン化することになりました。総会でも以上の内容とほぼ同様の報告がなさ

れ、来年度の支部大会会場となる関西学院大学の開催校委員から挨拶がありました。

◎機関誌第20号の投稿について

『関西英文学研究』第20号の投稿締切は4月末日です。電子媒体での投稿となります。詳しくはHPで投稿規程をご確認ください(上述のとおり、投稿規程が改訂されていますので、ご注意ください)。なお、修士号取得7年以内の関西支部会員による優れた論文には関西支部奨励賞(過去にこの賞を受賞していない者が対象)が授与されます。奮ってご投稿ください。

◎関西支部第21回大会の研究発表の応募について

関西支部第21回大会は、2026年12月12日(土)に関西学院大学にて開催される予定です。日程は変更の予定があるため、開催様式の通知も含めて、支部ホームページを随時ご確認ください。また、研究発表の応募締切は6月下旬を予定しておりますが、詳細については、HPでご確認ください。奮ってご応募ください。

◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。以上、事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。規約、役員、機関誌の投稿規程、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

(文責：霜鳥慶邦)

中国四国支部

◎中国四国支部第77回大会報告

2025年10月25日(土)・26日(日)の両日、高知県立大学において中国四国支部第77回大会が開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。開催校責任者の五百藏高浩氏(高知県立大学教授)を始めとする開催校のご関係者、および高知県の会員の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

第1日目は、小野章支部長による開会の辞をもって開会式が行われたあと、研究発表、特別講演、懇親会が行われました。研究発表は、英語学関係3件、イギリス文学関係3件、アメリカ文学関係3件、英語教育関係3件の計12件が行われました。このうち、英語学関係では、金澤俊吾氏(高知県立大学教授)による招待発表「Way構文の多様性と創造性について—drink one's wayを中心に—」(司会：広島大学教授 大野英志氏)が行われました。特別講演は、柳瀬陽介氏(京都大学教授)による「物語による英語教育が育てる不確定性有能性(Negative Capability)―対話性・異言混交性・多声性そして可能性―」(司会：広島大学教授 西原貴之氏)がありました。特別講演のあと、高知県公立大学生協永国寺キャンパス食堂にて懇親会を行いました。

第2日目は、島根大学准教授の宮澤文雄氏(司会・講師)の主導のもと、横山竜一郎氏(明海大学講師)、長岡真吾氏(福岡女子大学教授)、富村憲貴氏(熊本大学准教授)、小泉凡氏(小泉八雲記念館館長・島根県立大学名誉教授)によるシンポジウム「終わりなき怪談—ラフカディオ・ハーンと再創造の力—」がありました。そのあと、大野英志副支部長の閉会の辞をもちまして、全日程を終了しました。

◎理事会報告

第77回大会に先立ち、10月23日(木)午後9時のオンライン理事会にて次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

1. 会計報告および会計監査報告

周躍事務局長補佐が2024年度決算報告を行い、会計監査(上利学氏、水野和穂氏)により適切に会計処理されていることが報告され、承認されました。

2. 第78回支部大会について

日本英文学会中国四国支部第78回大会は、2026年10月31日(土)・11月1日(日)に、広島県広島市の県立広島大学広島キャンパス(開催校責任者：栗原武士氏)にて開催されることが報告され、承認されました。

3. 第78回支部大会運営スケジュールについて

第78回大会に向けての準備日程案が提案され、承認されました。

4. 2026年度予算の作成について

2026年度の支部予算の作成方法について、日本英文学会事務局より指示があり次第、予算案を支部事務局で作成し、それを臨時理事会にてメール審議することが提案され、了承されました。

5. 学会誌編集委員の交代について

2025年度末で任期満了となる編集委員について説明があり、2026年度からの学会誌編集委員として以下の通り報告され、承認されました。

蒲地裕子氏(2029年度末まで)

山東資子氏(2029年度末まで)

◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

2026年度の第78回大会は、10月31日(土)・11月1日(日)の両日、県立広島大学広島キャンパス(広島市)で開催されます(開催校責任者：栗原武士氏)。大会案内は2026年3月頃にメールおよび支部ウェブサイトにてお知らせします。研究発表の募集の締め切りは、5月15日(金)(必着)です。たくさんのご応募をお待ちしております。

◎学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第22号(『英文学研究』支部統合号第18号)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月15日(金)(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<https://elsj.org/chu-shi/>)をご覧ください。

◎支部メーリングリストの更新について

現在、支部で使用するメーリングリストの更新を行っております。会員の皆様には、新しいメーリングリストシステム(GroupML)への招待メールが届きましたら、登録作業を行っていただきますよう、お願い申し上げます。所属先が変更になられた方で会員名簿のメールアドレスを変更されていない場合は、メーリングリストに登録できませんので、日本英文学会HPのご連絡・お問い合わせフォームより日本英文学会本部事務局にご連絡頂いて、更新をお願いいたします。また、更新した旨を中国四国支部事務局(chu-shi@elsj.org)にもお知らせいただきますようお願いいたします。

メーリングリストの利用により、郵送費などの経費の削減、より迅速な情報提供、より効率的な学会運営が実現できております。新メーリングリストへの登録につきまして、ご協力いただきますようお願いいたします。

◎支部ホームページのリニューアルについて

支部ホームページをリニューアルいたしました。新しいURLは、以下の通りです。ブックマーク等の変更をお願いいたします。<https://elsj.org/chu-shi/>

以上(文責：西原貴之)

九州支部

◎日本英文学会九州支部第78回大会は、令和7年10月25日(土)、26日(日)の両日に、鹿児島大学郡元キャンパス(鹿児島市)で対面形式により開催いたしました。

◎令和7年度第2回支部編集委員会が令和7年10月25日(土)の午前に、鹿児島大学で対面により開催されました。また、編集委員会の終了後、第2回支部評議員会・理事会の合同会議が開催されました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。議事録は支部ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

《編集委員会》

1. 『九州英文学研究』第41号(支部統合号Vol. XVII)と『九州英文学研究』第42号(支部統合号Vol. XVIII)の刊行について
・資料に基づき説明があり、すべて承認され、第42号の優秀論文賞2編、懇話論文2編に関しても再度確認された。
2. 「招待発表者」ならびに懇話について
・資料に基づき説明があり、懇話担当者からの申し出があり、承認された。
3. 支部大会統合プロシーディングスについて
・プロシーディング担当の書記より説明があり承認された。
4. 来年度の支部大会について
・九州大学伊都キャンパスでの開催予定について報告がなされ委員会としても承認した。

5. 編集委員長の交代について
 - ・編集委員長よりアメリカ文学の委員間で委員長の交代があることが報告され、承認された。
6. その他
 - ・学会発表旅費支援制度への申し込みが2件あった。

《支部評議員会・理事会》

1. 活動報告
 - ・『九州英文学研究第41号』刊行、大会 ProceedingsのWeb掲載
 - ・第77回支部大会(2024年10月26日～27日) 福岡大学七隈キャンパス
 - ・理事会・評議員会(2024年10月26日(土) 11:00～福岡大学七隈キャンパス文系センター15階第5会議室、2024年11月29日～12月5日メール会議、2025年6月11日～6月20日メール会議、2025年10月25日(土) 11:00～鹿児島大学郡元キャンパス共通教育棟1号館2階122号会議室、2025年11月25日～12月2日メール会議)
 - ・編集委員会(2024年10月26日(土) 10:00～福岡大学七隈キャンパス文系センター15階第5会議室、2025年1月18日～24日メール会議、2025年7月27日13:00～14:45 (オンライン会議)、2025年10月25日(土) 10:00～鹿児島大学郡元キャンパス共通教育棟1号館2階122号会議室
 - ・第78回支部大会(2025年10月25日～26日) 鹿児島大学郡元キャンパス
2. 会計報告
 - (1) 2024年度会計報告、監査報告
 - (2) 2025年度中間報告
 - (3) 2026年度予算案
 - ・2024年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の支部会計報告が行われ、秋好礼子教授(理事・福岡大学)による監査が行われた旨が報告された。いずれについても、資料に基づき説明がなされ、質疑の後、承認された。
3. 統合号出版経費負担について
 - (1) プロシーディングス分担金0円
 - (2) 支部大会資料統合版分担金0円
 - (3) 英文学研究支部統合号第17号90,184円

(第16号は103,908円(40頁))

- ・いずれについても、議長より説明がなされ、質疑の後、承認された。
4. 編集委員会報告
 - ・上記の通り。
 5. 2026年度全国大会・支部大会の開催大学について
 - ・第98回全国大会は同志社大学今出川キャンパス(2026年5月16日(土)、17日(日))で開催の予定である。また、第79回九州支部大会は九州大学伊都キャンパスで開催の予定である。
 6. 事務局役員名、理事名、評議員名、評議員校、編集委員長
 - ・資料に基づいて各役職名簿が確認され、承認された。
 7. その他
 - ・学会発表旅費支援制度への申し込みが2件あった。

報告事項：

1. 日本英文学会理事会9月臨時会議について、議長より以下2件の報告があった。1)日本英文学会の本部事務作業に関する外部システム導入、2)日本英文学会ハラスメント相談委員会の「選任規程」新設。

◎訂正とお詫び

『九州英文学研究』第42号(支部統合号 Vol. XVIII)の執筆者一覧(p. 53)に職位の誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

【誤】田中和也 熊本県立大学教授

【正】田中和也 熊本県立大学准教授

九州支部ホームページ

<https://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>

(文責：鶴田学)